スボティツァ

　スボティツァはセルビアの町です。この町はセルビアのVajdaságという地方にあります。ハンガリーとの国境のとなりにある町です。Vajdaságの中にセルビアで一番大きい少数民族がすんでいます。この少数民族はハンガリー人のことです。このためスボティツァにもハンガリー人が数多くいます。
　スボティツァをハンガリー語でSzabadkaと言います。スボティツァはたくさん名所があります。一番有名なのは装飾様式の市庁です。そのほかにも国立劇場、図書館し、zsolnayのセラミック製の噴水、そしてRaichle-palotaと言う宮殿などが名所です。これらの名所は、Korzóと言うの遊歩道沿いにあります。Korzoだけではなく、スポティツァ全体に、古い建物がたくさんあります。市場のとなりにあるシナゴーグや博物館も名所です。また、Interetno FesztiválとDuzijancaと言うというプログラムも行われます。インテルエトノフェスティバルは国際的なフォークフェスティバルです。ここに世界中のダンスグループと音楽家バンドが出場します。Duzijancaは収穫のお祝いです。このお祝いでは大きな行進が行われます。どちらのプログラムも見事で面白いです。

歴史

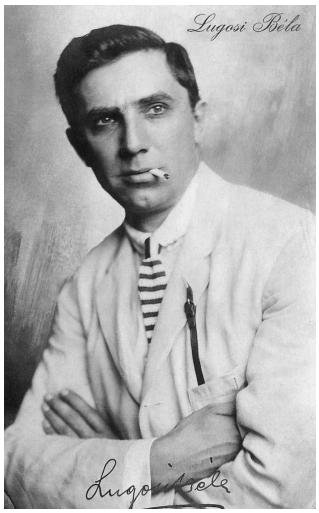
Suboticaの町は1391年にZabotkaまたはZabadkaとしてはじめて記録されました。集落の発展の鍵は、その地理的位置のために、アジアとヨーロッパの間の貿易ルートがここを通ったということでした。その後、町は長い間トルコ人の手にありました。マリアテレサは1779年にスボティツァを自由な王立都市と宣言し、その後Maria Theresiapolisと呼ばれました。1845年、国王はスボティツァを再び町の名前にすることを承認しました。スボティツァは長い間ハンガリーに属していましたが、1920年6月4日、ハンガリーから正式に分離され、当時のJugoszláviaの一部になりました。

有名人

スボティツァはそんな大きい町じゃありませんが、何人かの有名人がここに住んでいました。ここでは、そのうち２人の紹介をします。

まず Kosztolányi Dezső と言う有名なハンガリーの詩人と作家を紹介したいです。彼は1885年にスボティツァで生まれました、この時スボティツァはオーストリア・ハンガリー帝国の一都市でした。彼はスポティツァの高校に入学しましたが、ある先生と衝突して、その後、セゲドで塾生として高校生活を送りました。
短期間ウィーンで住んでいました、ここでジャーナリストになりました。彼は、たくさん小説、短編小説, プローズや韻文を書きました。Kosztolányi Dezsőの有名的な作品は例えばPacsirtaやAranysárkányやÉdes Annaの小説です。またA bús férfi panaszai

と言う詩集もあります。でもそれだけではなく、Kosztolányi Dezsőが翻訳した作品もあります。例えばShakespeareのロミオとジュリエット やLewis Carrolの不思議の国のアリスなどです。Kosztolányi Dezsőは1936年に重病のために亡くなりました。

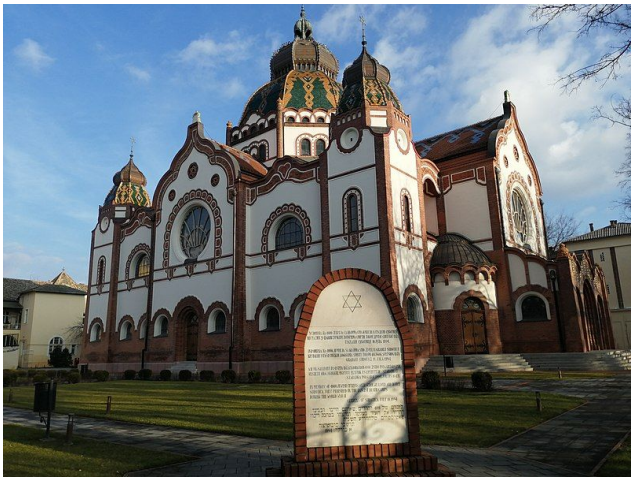


二人目の有名人はLugosi Bélaです。Lugosi Bélaは、ハンガリーの有名な舞台俳優兼映画俳優でした。

実はLugosiはスボティツァでは生まれませんでしたが、スボティツァの劇場の舞台で演技のキャリアを始めました。1927年、彼はブロードウェイでドラキュラ伯爵の役割を獲得し、その後世界的に有名になりました。1930年代にホラージャンルの象徴的なキャラクターの1人になりました。しかし、1956年にいきなり心臓発作で亡くなりました。

名所

スボティツァには、アールヌーボー様式で建てられた建物が最も多くあります。市庁舎（1908-1910年に建てられた）とシナゴーグ（1902年）は特に素晴らしい美しさです。これらは、ハンガリーのブダペスト出身の同じ建築家、MarcellKomorとDezsőJakabによって建てられました。アールヌーボー建築のもう1つの例外的な例は、1904年にFerenc J.Raichleによって建てられた実際のRaichel palotaの建物です。教会の建物には、1797年に建てられたアビラの聖テレサ大聖堂、1723年に建てられたフランシスコ修道会聖堂、20世紀初頭に建てられたハンガリーのアールヌーボー様式のスボティツァシナゴーグがあり、その改修は2019年の夏に完了しました。
スボティツァで最初の記念碑的な公共の建物として1854年に建てられたスボティツァの歴史的な国立劇場は、1983年に国の保護下にある歴史的記念碑として宣言されましたが、2007年に取り壊され、1991年に国立登録簿に追加されました。 並外れた文化的価値のある記念碑。現在改装中です。



スボティツァの有名なプログラム

スボティツァの一番有名なプログラムは二つあります。インテルエトノフェスティバルとDuzijancaと言うの祝賀会です。

まず、インテルエトノは18年に渡って、毎年８月にあるフェスティバルです。このフェスティバルに世界中から色々な民族のダンスグループが来て、自分の伝統的なダンスと音楽を紹介します。例えばロシアとか、ボリビアとか、韓国とか、マレーシアとか、チリとか、もちろんハンガリーも、そしてもっとたくさんほかの民族も来ました。その上、工芸の品評会し、児童館、たくさんのほかのプログラムもあります。例えば、竹馬の上演とか、昔の職業の上演とか、子供のために人形劇とか、中世の武術の上演とか、火のジャグリンもあります。この見事なと面白いフェスティバルは5日間続きます。

Dužijancaは、収穫、小麦の収穫、新しいパンの祝賀会です。 その際、感謝祭のミサが行われ、壮大なパレードが行われます。それは非常に古い伝統であり、豊饒の神に捧げられた祭典であった古代にまでさかのぼります。最初に復活したDužijancaは、1968年に開催され、それ以来続いています。豊富なBunjevac民族衣装が支配する儀式の行列は、街を動き回り、Bunjevacの人々の伝統的な収穫習慣を守り、彼らが忘却に陥るのを防ぎます。もちろん、現在ではハンガリー人とセルビア人も伝統的な民族衣装で行列に参加しています。行列の参加者は後で短いフォークダンスのパフォーマンスを行います。

　もちろん、地元の職人の作品を見たり購入したり、さまざまなスイーツ、ホットワイン、国産の味を試すことができるクリスマスマーケットなど、小規模なフェアやお祝いもあります。さらに、９月１日にお祝賀会があります。それは、スボティツァが自由な王立都市として宣言された日を記念する祝賀会です。

レストランと喫茶店

　スボティツァでたくさんいいレストランと喫茶店があります。いくつかについて紹介します。

　最初のレストランは「BATES」です。このレストランは1989年にオープンしました。ここは家族の伝統に基づいて建てられた場所で、料理は古いレシピに基づいて調理されています。タンブラミュージシャン、家庭的な雰囲気、伝統的な料理が良い雰囲気を提供します。

「BATES」は、毎日午前10時から午後10時まで、日曜日は午前11時から午後4時まで営業しています。

数十年前、より正確には1986年に、「Boss pizzéria」がスボティツァにオープンしました。10年後、ピザ屋はモダンなレストランになりました。そのモダンなスタイルとその珍しい料理の優れた品質は、ゲストに非常に人気があります。品揃えは本当に豊富で、菜食主義メニューさえもあります。営業時間は月曜日から土曜日までに午前９時から午後０:00時まで、そして日曜日は午前10時から午後０:00時まで営業しています。

スボティツァの最も人気のあるカフェの1つは「CafePrica」です。ここでは、長い散歩の後に簡単にリフレッシュできます。この場所は雰囲気が良く、コーヒー、紅茶、ホットチョコレート、その他の飲み物、ソフトドリンク、ケーキはすべて豊富な品揃えです。喫茶店は街のメインプロムナードの小さな中庭にあります。営業時間は月曜日から土曜日までに午前8時から午後23時まで、そして日曜日は午前11時から午後23時まで営業しています。

「Bodis & Porto」と言うの喫茶店もとても有名で人気です。 元々、ここは「Bódis」と言う菓子屋でした。 第一次大戦のときにBódisと呼ばれた家族が創立しました。Vajdaságで第一の菓子店だと称されています。有名人もこの店をよく訪れました。人々が大好きな菓子店でした。その後、店は大きくなり、名前が変わりました。もはや単なる菓子店として機能しているのではありません。時々、アマチュアバンドとプロバンドの両方がここで演奏し、素晴らしい雰囲気を提供します。「Bodis & Porto」は毎日午前７時から午後１１時までに営業しています。

　リラックスしたり、友達と仲良くしたり、または遊びたいなら、これらの場所を強くお勧めします。

宿泊

　スボティツァで1日よりも多くの時間を過ごしたい場合に、優れた宿泊施設でお得な料金の場所をご紹介します。

　敷地内の専用駐車場と無料Wi-Fiを提供するエアコン完備の宿泊施設で、この宿泊施設の名前は「MainStreet apartman」です。客室は設備が整っており、スタッフはセルビア語、ハンガリー語、英語でも話をすることができます。ちょっと残念な点は、ペットが許可されておらず、1つの部屋に最大4人までしか収容できず、ベビーベッドとエキストラベッドを提供できないことです。場所は：町の中心の、Matije Korvina 16 ストリート、スボティツァ、セルビア、郵便番号は24000です。

次のは「**Miha Apartman**」です。エアコンや専用駐車場や無料Wi-Fiが提供され、タオルとベッドリネンは追加料金で利用できます。24時間対応のフロントデスクのスタッフは、いつでもセルビア語、ハンガリー語、英語を話すことができます。前と同じデメリットがありますが、ここでは最大1部

屋で3名まで宿泊できます。それにもかかわらず、この場所も優れた評価を受けました。場所は：町の中心の、Štrosmajerova 8/9 ストリート、スボティツァ、セルビア、郵便番号は24000です。

　どちらの場所でも、ゲストはサービス、部屋の美しさと清潔さ、設備の整ったものを高く評価しています。どちらの場所にもキッチンがあり、その良い場所のおかげで、近くにはさまざまなレストラン、カフェ、パン屋、その他のショッピング施設があります。

「Hotel Forum Garni」は、旧市街の中心部の、市庁舎からわずか50メートルの場所にあります。ホテルの窓とバルコニーからは、素晴らしい景色を眺めることができます。スボティツァで最も古い家はホテルの複合施設の一部で、隣接するフランシスコ会の教会と修道院は市内で最も古い教会の建物です。すべての部屋にはモダンな設備とエアコンがあり、ほとんどにバルコニーが付いています, そしてと無料のWi-Fiもあります。ホテルの警備付き駐車場は無料でご利用いただけます。ホテルにはキッチンの代わりに、バー、レストラン、フードデリバリー、ルームサービスがあります。スタッフはセルビア語、ハンガリー語、英語、クロアチア語でコミュニケーションをとることができ、とても親切で親切です。エキストラベッドは一部の客室でのみご利用いただけます。3つの宿泊施設のうち、ここが最も高価です。場所は：町の中心で、Trg cara Jovana Nenada 11 ストリート、スボティツァ、セルビア、郵便番号は24000です。

交通

　スボティツァはハブであり、道路や鉄道で簡単にアクセスでき、「ヨーロッパの玄関口」とも呼ばれています。1897年9月7日、最初のトラムが走り始めました。しかし、1974年4月2日になくなりました。最初のバスは1927年に乗客を運びました。 今日では、公共交通機関と近代的なバスでアクセスできます。公共交通機関の110周年を記念して、2007年にはSubotica-Transの会社も7台の新しいバスを増加しました。ハンガリーから136号線または150号線で行くことができます。 街からセルビアの首都ベオグラードへの路線もあります。ただし、上記の観光スポットまでは公共交通機関を利用する必要はなく、すべて近くにあり、徒歩でも見ることができます。また、スボティツァの近くにある美しいPalicと言う街にも是非訪れてみてください。